

取扱説明書

本日は、当日海センター オリジナルタワー型ろ過槽ジュニアをお買い上げ頂き誠に有り難うございました。
未長くお使いいただくため、この取扱説明書をよくお読みになり正しくお使いください。
なお、お読みになられたあとも、大切に保存されますようお願いいたします。

-特長- 日海センターオリジナルタワー型ろ過槽Jrは、通常水槽内にある、ヒーターを、ろ過槽内に収納、オプションにて、硝酸塩還元筒デラックスを取り付けると ヨウ素殺菌、硝酸塩還元 カキガラ（カルシウム上昇剤）も収められる画期的なろ過槽です。水槽のサイドに設置するため、水槽上面も広く使え、水槽のメンテナンスがしやすくなりました。照明も全面にあてられます。

<1> 各部品の名称、を確認してください。
(図1参照)

<2> ろ過槽に(図2参照)揚水ポンプ、ヒーター、配管をセットします。

(1) まず ろ過槽本体、をよく水洗いしてほこり、バリ(切屑)などを落とし、水槽の横又は背面に設置します。高さがある場合は底が平らな物で底上げして下さい。

セット場所は直射日光が当たらない所して下さい。直射日光が当たりますと紫外線により、ろ過槽は劣化、ひび割れ漏水する恐れがあります。

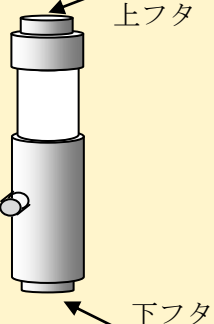
(2) 図2を参考にヒーター(ヒーターカバーをして下さい)とセンサーをろ過槽本体の”オプションパーツ室”の底深く沈め横にして置きます。ヒーターとセンサーは出来るだけ離して下さい。ヒーターを電子サーモと接続します電源はまだ入れません。

ヒーターは必ずヒーターカバーに入れて御使用ください。カバー無しでの御使用は、熱によりろ過槽が変形、ひび割れ、漏水すし、火災発生の恐れがあります。

(3) 図2のように水中ポンプを配管します
揚水ポンプの電源はまだ入れません。

(4) オプションパーツ硝酸塩還元デラックスを取り付ける場合、まず、硝酸塩還元デラックスの中身図3を参考にセットしてください。

図3



下フタを開けた部分に ヨウ素殺菌替玉と カキガラをセットします。

上フタを開けた部分に リダクションバイオを染み込ませたデニバイオチップとハイブリットボールを入れてください。セットがおわりましたら、濾過槽本体に図1を参考に取り付けてください。

図1

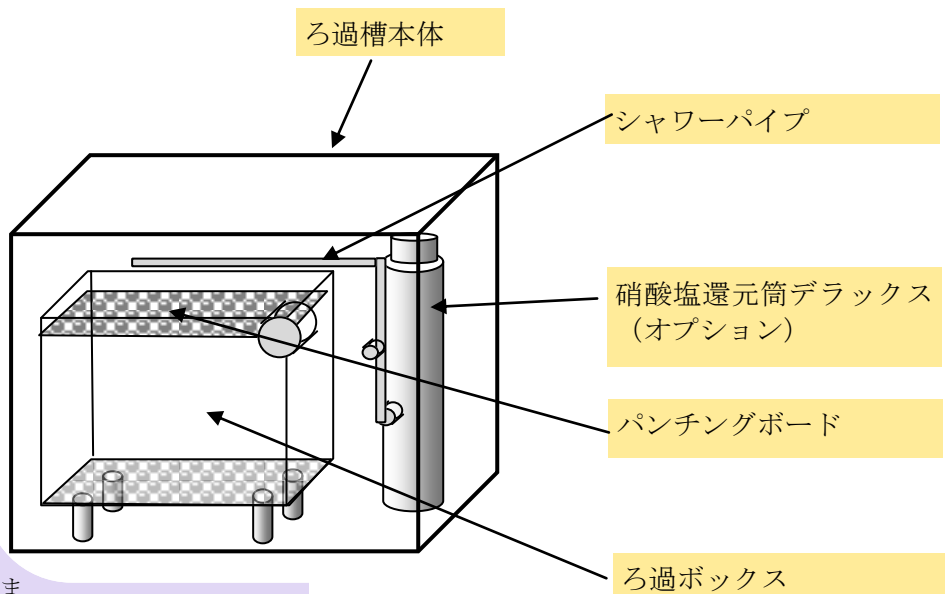
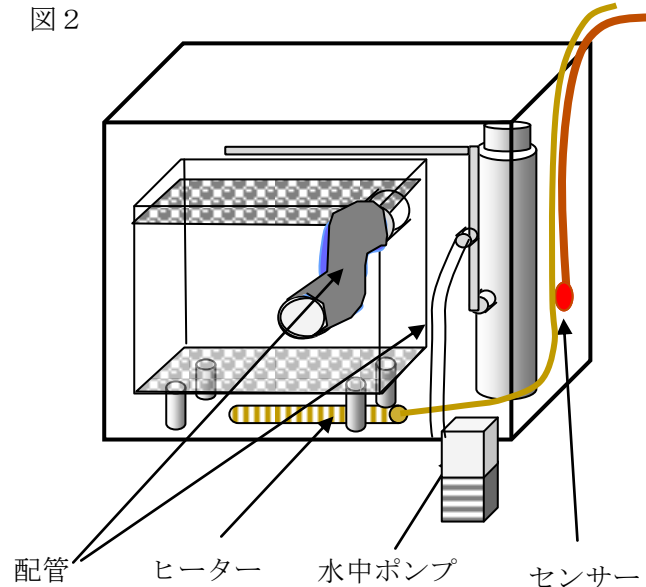


図2



< 2 > ろ過槽に海水（水）を入れます。

揚水ポンプの電源をいれて、ろ過槽に飼育水が満タンになったら揚水ポンプを一旦止めます。

< 3 > ろ過ボックスにサランネット ハイブリットボールの順に図4を参考に 下から順に入れてゆきます。

< 4 > ろ過槽にバクテリア(商品名' スーパーバイオ')を入れ水を循環させます。

バクテリアは活性炭をよけて、直接混合ろ材に入れて下さい。そのまま2~3分待ってから、揚水ポンプの電源を入れて水を循環させます。水の循環が確認出来ましたら、ヒーター（サーモスタット）の電源を入れて下さい。この時、水が白濁しますが、数時間で透明に戻ります。

電源が入っているヒーターとセンサーは絶対に水中から出さないで下さい。破損、火災の恐れがあります。

< 5 >ろ過槽のメンテナンスについて

--活性炭のメンテナンスについて--

活性炭は汚れ方にもよりますが・・・2~4週間に一度、新しいものと交換します。

--ろ過材のメンテナンスについて--

常時飼育されている生物の大きさ、数、あるいは餌のあげ方、あげる量等のさまざまな条件に伴い、

ろ過材のメンテナンス時期は一概にはいえませんが、3ヶ月・・・延ばしても4ヶ月に一回はろ過材のオーバーホールを行きましょう

オーバーホール方法は、その時期が来ましたら当店にお訪ねください。

< 6 >硝酸塩還元筒デラックスのメンテナンスについて

下フタの カキガラ と ヨウ素殺菌替え玉は オーバーホール時に 新しく交換するとそれぞれの効果が持続します。

上フタの硝酸塩還元筒には 3ヶに一回は デニバイオチップを追加してください。

--警告--

*ろ過槽を移動するとき、ろ過材、水等をはったまま持ち上げたり移動させないでください。

本体が歪み漏水する恐れがあります。

*ストーブやヤカンなど熱いものを、ろ過槽に近づけないでください。

ろ過槽をシンナーやその他薬品で拭いたりしないでください。

熱や薬品により変形、ひび割れ、漏水する恐れがあります。

*ろ過槽にご自分で穴を開けたり、加工を加えないでください。

本体の強度が低下し、破損、漏水の恐れがあります。

*セット場所は直射日光が当たらない所にして下さい。

直射日光が当たりますと紫外線によりろ過槽は劣化、ひび割れ漏水する恐れがあります。

